

# 保健所の業務を通じた医療と介護の連携づくり

～延岡市地域資源リスト作成に関わって～

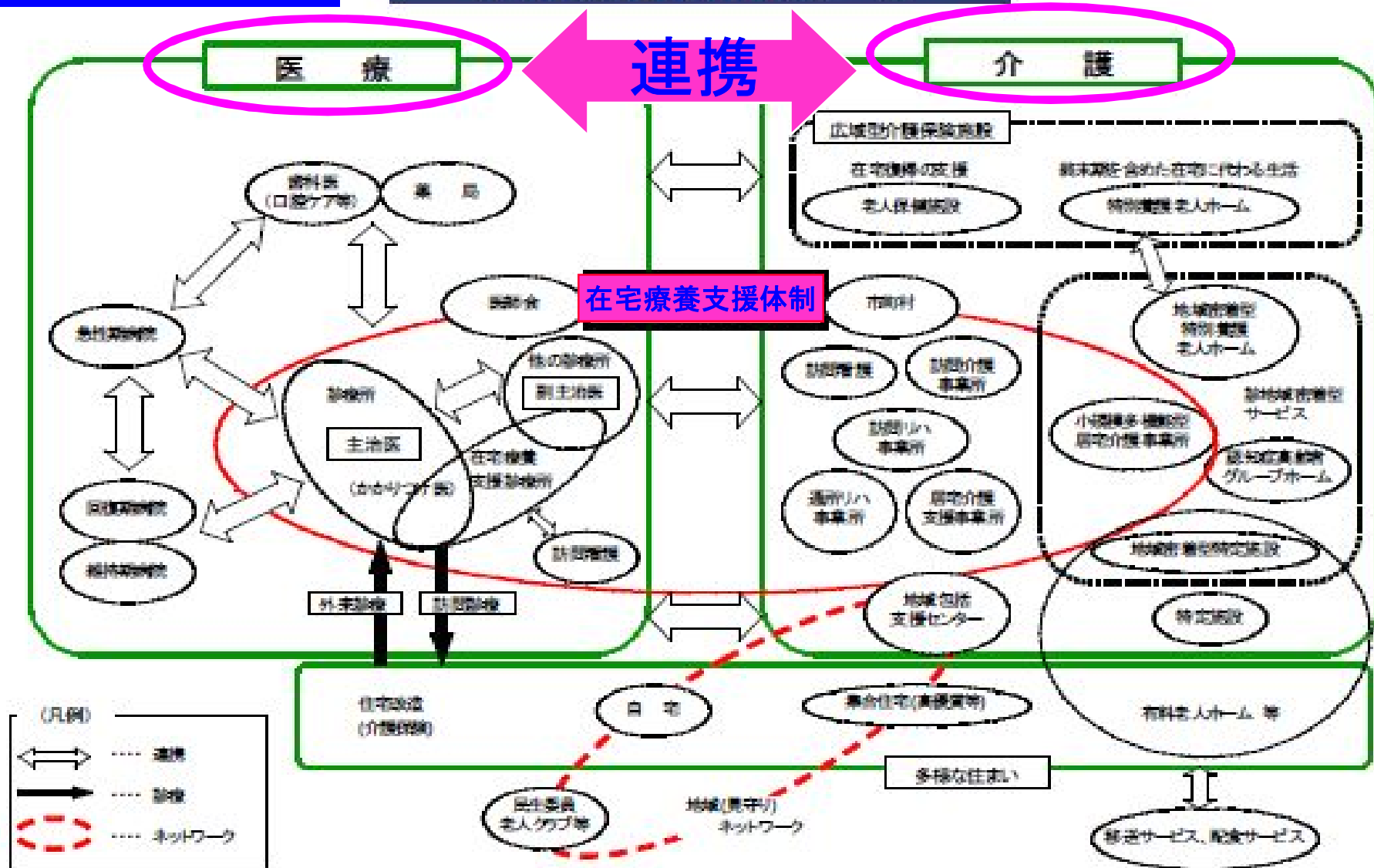
○吉岡 泰代(日向保健所)

片平久美 日高良雄 (延岡保健所)

太田尾香代子(元延岡保健所)

# はじめに

## 地域ケア体制のイメージ



宮崎県医療計画 (平成20年3月)

# 保健所の業務を通じて ～作成までの経緯～

- がん対策→在宅緩和ケア推進連絡協議会、
- 介護保険→介護認定調査員研修、監査指導、地域包括支援センター定例会への出席、延岡市主催のケアマネ研修会の講師
- 延岡市社会資源調査→延岡市医師会、延岡市役所、地域包括支援センターとの連携

# 在宅緩和ケア推進連絡協議会の取組み

表1 平成21年度県北緩和ケア推進連絡協議会・作業部会

＜本協議会＞1回(12月9日)

＜作業部会＞2回(1月6日、2月16日)

結果：拠点病院→協力病院→診療所→在宅への療養システム  
づくり

①	互いに共通する社会資源の把握と活用
②	既存の社会資源の整理(医療機関・施設・事業所情報)と周知と活用
③	医療と介護の連携を図るための事例検討
④	疼痛コントロールなど緩和ケアに必要な知識、情報に関する研修会の開催

## その他の意見

- 医療スタッフ、患者ともに退院後をイメージした入院生活・退院支援が必要
- 医療と介護の点と点を結ぶ作業が必要
- 地域の在宅医療に対する気運の醸成
- 地域の社会資源マップが必要
- 往診を本気で考える医療機関の把握
- 介護保険対象外のケースへの対応

# 介護保険業務での取組み

\* 介護認定調査員・介護支援専門員合同研修



作成配布「MSWのいる医療機関の窓口一覧」

\* 地域包括支援センター一定例会の出席

\* 監査指導→ケアプランのチェック→医療との連携の苦手意識を把握

# 介護認定調査員・介護支援専門員合同研修

テーマ：医療と介護の連携

～顔の見える連携のために～

講演

- ①知っておきたい新型インフルエンザ
- ②介護認定調査員と医療機関の円滑な連携のために
- ③主治医意見書作成依頼の際に工夫していること  
～様々な書類作成を円滑にするために～
- ④特記事項の書き方～第3群4群を中心に  
～介護認定審査会委員を悩ませる“わかりにくい特記事項”と“わりやすい特記事項”～

診断書・主治医意見書等、書類の記載を依頼する時の窓口

この様式は、介護支援専門員が書類記載の依頼にあたり医療機関への問い合わせをスムーズに行うためのものです。具体的な記載をお願い致します。

医療機関名：

(平成21年9月現在)

介護支援専門員が最初に相談する窓口(電話でのアポイント等)

1	担当部署	
2	職名	
3	氏名	
4	TEL:医療機関代表	
5	TEL:担当(直通・内線)	
6	都合の良い曜日	
7	都合の良い時間帯	

書類を持っていく時の窓口

8	担当部署	
9	職名	
10	氏名	
11	都合の良い曜日	
12	都合の良い時間帯	
13	TEL:担当(直通・内線)	
14	介護支援専門員が主治医と直接話す際の窓口	

医療機関と介護支援専門員の連携を円滑にするために

15	書類持参時に添付してほしい資料等	*更新申請、福祉用具、通所リハ等に関する具体的な書類について記載してください。
16	(医療機関・ソーシャルワーカー)との連携にあたり認定調査員や介護支援専門員をお願いしたい事  これまでに介護保険関係の書類作成を依頼された時に困った事	例)提出期限、申請者の状況に関する情報等について

ご協力ありがとうございました。

## 研修会での要望（連携に関して）

- 主治医との連絡様式の作成
- 市内の医療機関窓口一覧表の作成

# 地域包括支援センター定例会への出席

- 事例検討でアドバイス
- 地域リハビリテーション広域支援センターの紹介や活動の連携づくり
- 歯科医師、歯科衛生士を講師とした講演「口腔ケア」「嚥下」の提供
- うつ症状のある高齢者の対応やスタッフ自身のメンタルヘルス助言
- 感染症対策に関する対応助言
- 居宅支援事業所との連携不足の把握

# 他機関が行っている連携会議の把握

- 医師会、延岡市、地域包括支援センターの意見交換会
- 地域包括支援センター職員と医療機関・MSWの意見交換会
- 延岡市主催の介護支援専門員連絡会
- 延岡市地域包括支援センター一定例会
- 各地域包括支援センター主催の地域ケア会議
- 医療機関主催の自主勉強会

## 地域の課題

- それぞれが連携を必要と感じ模索している
- 医療機関は介護保険事業のことがわかりにくい
- 介護保険事業所はどの医療機関が在宅医療を実施するかわからない
- 介護支援専門員はケアプラン作成等のための医療機関連携に苦手意識がある
- 在宅医療を担う訪問看護ステーションが少ない

# 共通目標

多職種間で情報を共有化し、限りある資源の中で

住み慣れた地域や自宅で住民が安心安全な生活を送るために、

援助者間の「顔の見える連携」づくりを目指す

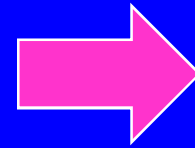


確認

社会資源一覧表を作成することの必要性

参考:  
社会資源リスト作成へ

- 延岡市医師会
- 延岡市役所
- 地域包括支援センター



延岡市  
社会資源調査

\* 保健所も協力して  
社会資源調査へ

# 社会資源リスト作成に対する要望

- 社会資源調査に向けた三者打ち合わせ

延岡市医師会・延岡市高齢福祉課・延岡保健所

要望

延岡全体が  
わかるもの  
が欲しい！

## 介護支援専門員

- \* 見やすい、使いやすい、知りたい情報を調査してほしい  
(在宅医療に関する事、連絡窓口、土日の対応)

## 医師会

- \* 医療機関が介護保険事業所を理解しやすいものにしてほしい。(用語やサービス種別の説明)

# 作成にあたり各機関の役割

**保健所**：医師会長、延岡市への趣旨説明と医療機関への調査様式の作成及び編集

**医師会**：医療機関への調査様式の送付と回収及び入力作業

**延岡市**：介護保険事業所への調査様式の作成と回収及び編集

**地域包括支援センター**：各エリアの事業所への掲載の依頼及び編集

# 医療機関調査内容

- 連携窓口...医療連携室・医療ソーシャルワーカーの有無 担当者
- 時間外(日・祝・夜間)の対応
- 在宅医療実施状況・受け入れ可能条件
- 患者の紹介・受入に当たっての条件
- 主に連携している医療機関
- リハビリ体制
- 併設の介護保健施設等

# 介護保険事業所調査内容

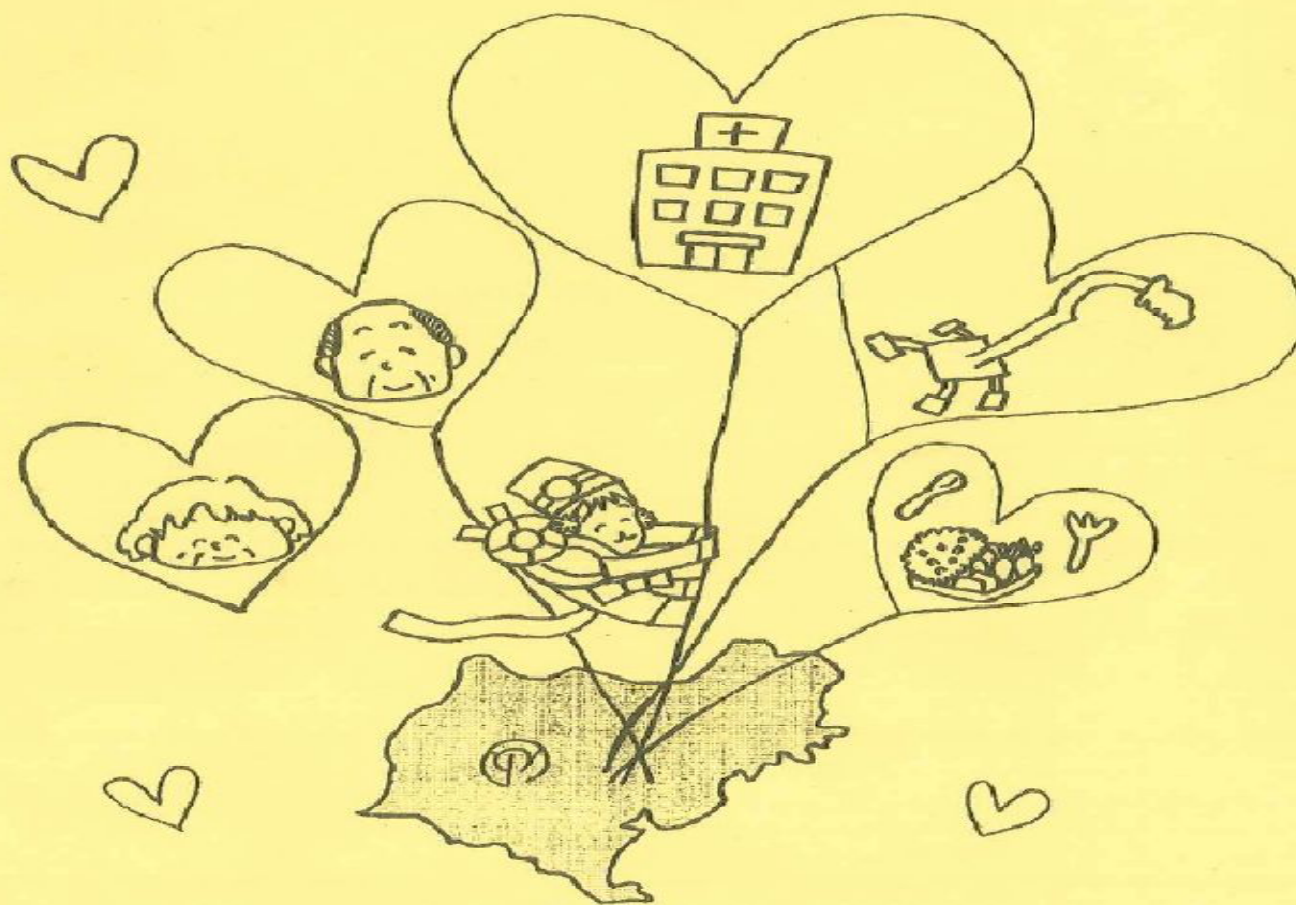
- 提供サービスの内容
- 事業所のPR・地図
- サービス提供営業日・時間帯・
- 同系列の事業所等
- 同系列の医療機関

# 延岡市地域資源リスト掲載状況

- 介護保険事業所 236ヶ所
- 医療機関 83ヶ所
- 行政機関・その他 19ヶ所
- 配食サービス 13ヶ所
- 移送サービス 8ヶ所
- 有償ヘルパー 12ヶ所

# 延岡市地域資源リスト

～医療・介護・福祉・地域の連携のために～



平成22年3月

延岡市 延岡市医師会 延岡保健所 編

## 工夫した点

- 医療と介護の顔の見える連携が出来、住民の入退院や在宅生活への流れが円滑に出来る情報となるようにした。
- 配食・弁当情報の掘り起こしと掲載依頼を行い、掲載できなくとも地域資源情報として、包括支援センターが把握できた。
- 各種連携(生活保護、入院時の手続き、難病、自助グループ、介護予防事業)に必要な事項を掲載
- 地域包括支援センターが管轄する日常生活圏域ごとに医療機関を掲載

# 宮崎県医療計画

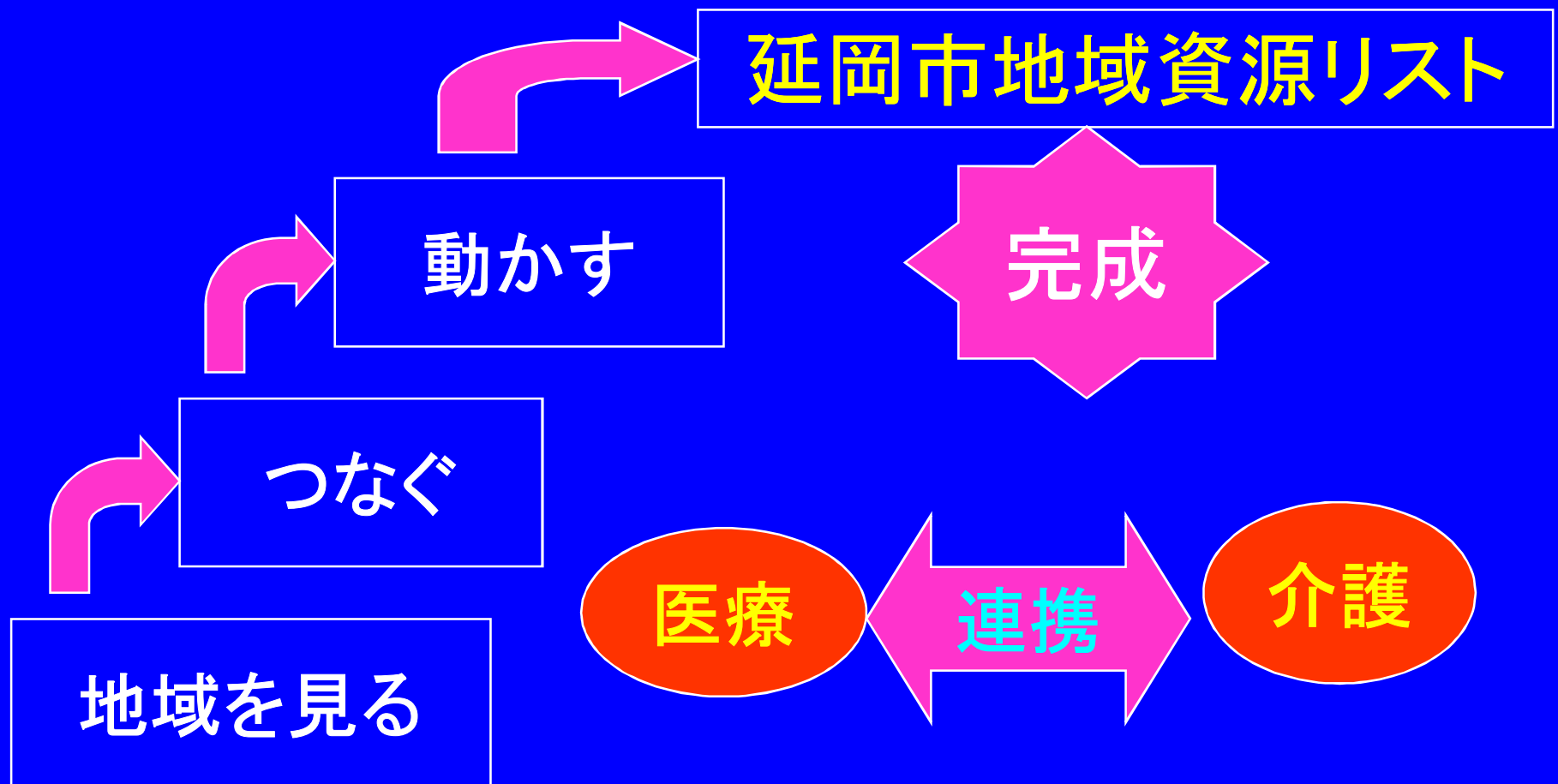
- 県民が生涯を通じて安心した生活ができるよう、保健と福祉との有機的な連携を図りながら医療提供体制の構築を目指す。

## 脳卒中・がん

- 保健、医療、福祉の連携が重要な鍵である。
- 在宅医療・介護の連携による地域ケア体制づくりは今後ますます重要になる。

# 保健師の役割

それぞれの「顔が見える連携づくり」のための仕掛け



## 今後の活用と課題

- \* 本リストを一つのツールとして医療機関  
介護保険事業所ともに在宅療養支援に  
活用する。
- \* 情報の更新をどのように行うか。

## 退院・退所時の連携

- 地域連携診療計画退院時指導料(医療機関)
- 介護支援連携指導料(医療機関)
- 退院時共同指導料・多職種連携加算(医療機関)
- 退院・退所加算(Ⅰ)(Ⅱ)(居宅介護支援事業所)

## 入院中の連携

- 総合評価加算(医療機関)